

(様式1)

令和4年度 岩手県立大船渡高等学校（全日制）経営計画

校長：熊谷賢児

| | | | | | |
|---|---|---|--|--|---|
| 1 現状把握及び将来展望 | | 児童生徒 | 保護者 | 地域住民 | 周辺の中学校 |
| | (1) 学校に対するニーズ | <ul style="list-style-type: none"> 学力の向上 希望進路の実現 部活動の充実 満足度の高い学校生活 | <ul style="list-style-type: none"> 学習と部活動の両立 希望進路の実現 安全安心な学校 学校情報の提供 | <ul style="list-style-type: none"> 社会の発展を担う人材育成 地域活動への積極的な参加交流 | <ul style="list-style-type: none"> 希望進路の実現 部活動の充実 |
| | (2) パートナーとの関係 | <ul style="list-style-type: none"> 自主的な教育活動への参加 教育活動の情報発信 | <ul style="list-style-type: none"> 教育活動への協力 教育活動の情報発信 | <ul style="list-style-type: none"> 教育活動への協力 | <ul style="list-style-type: none"> 中高連携 教育活動の情報発信 |
| | (3) 学校に影響を与える変化 | <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症拡大防止に係る学校の新しい生活様式への対応 新学習指導要領(学びの充実＝授業改善)、ICT活用による学習の質の向上、教員の働き方改革 少子化の進行及び東日本大震災の影響による生徒数の減少 | | | |
| 2 校訓・教育目標 | <p>校訓 『自主独立』 自分の責任において自分の力と意思で物事を成すこと</p> <p>教育目標 知・徳・体の調和のとれた人間形成を目指し、社会の変化に主体的に対応できる能力と国際的視野を持った人間の育成を期し、次の目標を定める。</p> <ol style="list-style-type: none"> 真理を求め、自ら主体的に学ぶ姿勢を持つ青年の育成 互いに個性を尊重し、敬愛する心を持つ青年の育成 心身の調和がとれ、強くたくましい精神力と体力を持つ青年の育成 | | | | |
| 3 目指す学校像 | 生徒と教職員が「自主独立」の気概を持ち、文武一道に取り組む爽やかな学校 | | | | |
| | (1) 今年度の重点目標 【質の高い教育実践】 | 重点目標 | | 達成指標 | |
| | | ア 主体的な学びの定着と ICT 有効活用による質の高い授業の実践を図る。(学力向上) | | ・授業外学習等に平日2時間以上取り組む生徒の割合【50%以上】 | |
| | | イ 学習と部活動等を支援し、文武一道を図り、充実した高校生活を体験させる。 | | ・東北、全国大会出場者+東北、全国コンクール等入賞者【30人以上】 | |
| | | ウ 将来を見据えたキャリア教育を充実し、生徒の高い志(希望進路)の実現を図る。 | | ・希望する進路目標を達成した生徒の割合【95%以上】 | |
| | | エ 学校いじめ対策組織の取組を中核としたいじめの防止(適切な対処) | | ・高校生活が充実(満足)していると答えた生徒の割合【90%以上】 | |
| | | オ 互いに個性を尊重し、豊かな心を持つ自立した人間を育成する。 | | ・交流活動、体験活動、探究活動、奉仕活動、地域貢献活動に参加した生徒の割合【30%以上】 | |
| (2) 取組方針 『人生100年時代』 『Society5.0』 を念頭に置いて | ア 主体的な学びの定着と ICT 有効活用による質の高い授業の実践を図る。(学力向上) (7)生徒が主体的に学ぶ授業、ICT 有効活用による生徒が「わかる授業」の実践 (4)授業と連動した家庭学習の定着 (7) 観点別評価の円滑な運用 | | | | |
| | イ 学習と部活動等の両立を支援し、文武一道を図り、充実した高校生活を体験させる。 (7)集中と転換による部活動や生徒会活動の推進 (4)東北・全国大会及びコンクール等上位大会を目指す意識の醸成 | | | | |
| | ウ 将来を見据えたキャリア教育を充実し、生徒の高い志(希望進路)の実現を図る。 (7)計画的・組織的なキャリア教育と「大船渡学」の推進 (4)いわて進学ネットワーク事業(探究プログラム事業<理数教育重点>)の活用推進 | | | | |
| | エ 早期発見と解消に向けた適切な対処 (7)日常的な観察、面談、アンケート等による早期発見と積極的な認知 (4)規範意識、情報モラル、他人に対する思いやり等の醸成によるいじめの未然防止 | | | | |
| | オ 互いに個性を尊重し、豊かな心を持つ自立した人間を育成する。 (7)交流活動・体験活動・探究活動・奉仕活動・地域貢献活動等の奨励(復興教育の一助) (4)読書活動の奨励 (7)挨拶・礼法・整容の向上 (E)心身ともに健康な生活を送る力の育成 (4)防災安全・危機意識高揚(新型コロナウイルス感染症拡大防止対応の継続) | | | | |

※職員コンプライアンスの確立、元気で明るい職場づくり、学校組織マネジメントの推進

※コミュニティ・スクール設置(R5 予定)に向けての準備

(様式1)

令和4年度 岩手県立大船渡高等学校（定時制）経営計画

校長：熊谷賢児

| | | | | | |
|--|---|--|---|--|--|
| 1 現状把握及び将来展望 | | 児童生徒 | 保護者 | 地域住民 | 周辺の中学校 |
| | (1) 学校に対するニーズ | ・わかる授業の実践 ・希望進路の実現 ・部活動の充実 ・満足度の高い学校生活 | ・学校生活の充実 ・希望進路の実現 ・継続的な登校 ・安全安心な学校 | ・社会の発展を担う人材育成 ・地域活動への積極的な参加交流 | ・わかる授業の実践 ・希望進路の実現 ・継続的な登校 ・安全安心な学校 |
| | (2) パートナーとの関係 | ・自主的な教育活動への参加 ・教育活動の情報発信 | ・教育活動への協力 ・教育活動の情報発信 | ・教育活動への協力 | ・中高連携 ・教育活動の情報発信 |
| | (3) 学校に影響を与える変化 | ・新型コロナウイルス感染症拡大防止に係る学校の新しい生活様式への対応 ・少子化の進行及び東日本大震災の影響による生徒数の減少 ・様々な課題を抱える多様な生徒を一人前の社会人として送り出す場としての役割 ・地域関係機関、団体、雇用主等との緊密な連携 ・新学習指導要領、授業改善（ICT活用） | | | |
| 2 校訓・教育目標 | 校訓 『 自主独立 』 自分の責任において自分の力と意思で物事を成すこと 教育目標 知・徳・体の調和のとれた人間形成を目指し、社会の変化に主体的に対応できる能力と国際的視野を持った人間の育成を期し、次の目標を定める。 1 真理を求め、自ら主体的に学ぶ姿勢を持つ青年の育成 2 互いに個性を尊重し、敬愛する心を持つ青年の育成 3 心身の調和がとれ、強くたくましい精神力と体力を持つ青年の育成 | | | | |
| 3 目指す学校像 | 生徒と教職員が「 自主独立 」の気概を持ち、文武一道に取り組む爽やかな学校 | | | | |
| | (1) 今年度の重点目標 【キャリア教育の充実】 | 重点目標 | | 達成指標 | |
| | | ア | 生徒が主体的に学ぶ授業、生徒が「わかる授業」の実践を図る。（ICT活用） | ・授業がわかると答えた生徒の割合【80%以上】 | |
| | | イ | 個々の生徒に応じた進路指導、進学・就職対策の充実を図る。 | ・希望進路達成率【80%以上】 | |
| | | ウ | 互いに個性を尊重し、豊かな心を持つ自立した人間を育成する。 | ・交流活動、体験活動、探究活動、奉仕活動、地域貢献活動に参加した生徒の割合【80%以上】 | |
| | エ | 学校いじめ対策組織の取組を中核としたいじめの防止（適切な対処） | ・高校生活に満足（充実）していると答えた生徒の割合【80%以上】 | | |
| (2) 取組方針 【人生設計力と総合生活力の育成】 『人生100年時代』 『Society5.0』 を念頭に置いて | ア 生徒が主体的に学ぶ授業、生徒が「わかる授業」の実践を図る。（ICT活用） (7) 授業改善に向けた不断の取り組み、授業研究会の実施 (4) 個々に応じた基礎・基本の定着に向けた取組み | | | | |
| イ 個々の生徒に応じた進路指導、進学・就職対策の充実を図る。 (7) キャリアガイダンスの充実、勤労観・職業観・人生観の育成（外部講師等の活用） (4) 学業とアルバイトの両立を奨励、インターンシップの充実（就労体験） | | | | | |
| ウ 互いに個性を尊重し、豊かな心を持つ自立した人間を育成する。 (7) 交流活動・体験活動・奉仕活動・地域貢献活動等の奨励（他校地域との交流、復興教育） (4) 読書活動の奨励 (7) 挨拶・礼法・整容の向上 (E) スマホ等の適切な利用の啓発 (6) 安全・健康教育・食育の充実（新型コロナウイルス感染症拡大防止対応の継続） | | | | | |
| エ 早期発見と解消に向けた適切な対処 (7) 日常的な観察、面談、アンケート等による早期発見と積極的な認知 (4) 規範意識、情報モラル、他人に対する思いやり等の醸成によるいじめの未然防止 | | | | | |

※職員コンプライアンスの確立、学校組織マネジメントの推進、元気で明るい職場づくり

※教育相談、特別支援教育の充実（関係機関・団体との連携、支援員・SSWとの連携）

※コミュニティ・スクール設置（R5 予定）に向けての準備